

財団だより

〈第 86 号〉

特別号

一般財団法人全国強制抑留者協会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2
九段第二勸業ビル2階
TEL 03-3261-6565 FAX 03-3261-6548

シベリア抑留関係者の皆様へ

◆中央慰霊祭開催のお知らせ◆

旧ソ連・モンゴル等に抑留され、死亡された
方々の中央慰霊祭を左記の通り開催します。

◆日時

令和七年十月八日（水）
午後一時より（約一時間の予定）

◆会場

都市センターホテル
（三階コスモスホール）
東京都千代田区平河町二一四一
TEL〇三―三二六五―八二一一
（代表）

主催

一般財団法人全国強制抑留者協会

後援

総務省

◆申込方法

参加ご希望の方は、郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、往復はがきで九月十九日（金）迄にお申し込み下さい。

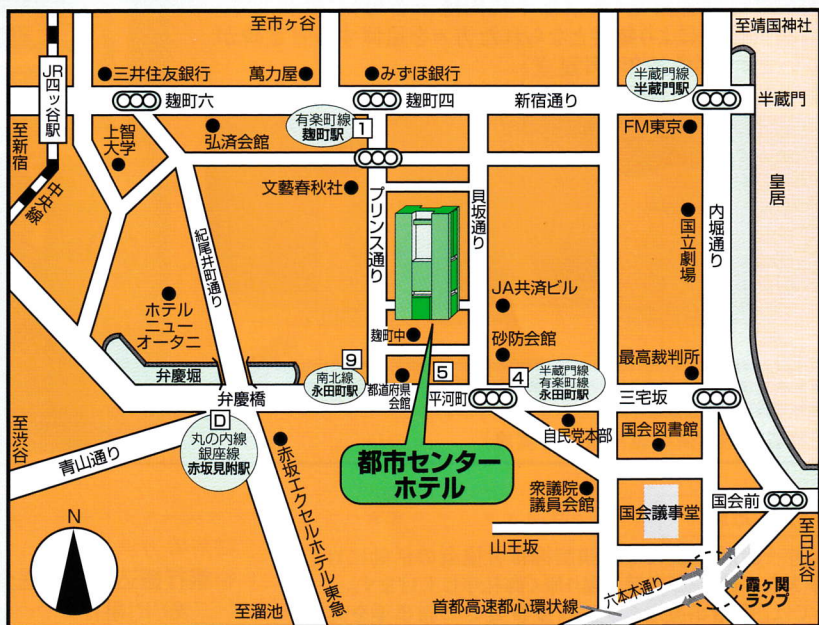
宛先

〒一〇二一〇〇七三
東京都千代田区九段北一―八二二
九段第二勸業ビル二階
一般財団法人全国強制抑留者協会
TEL 〇三―三二六一―六五六五

都市センターホテルまでの地図

電車の場合

- 東京メトロ 有楽町線
「麹町駅」半蔵門方面1番出口より徒歩4分
- 東京メトロ 有楽町線・半蔵門線
「永田町駅」4番・5番出口より徒歩4分
- 東京メトロ 南北線
「永田町駅」9番出口より徒歩3分
- 東京メトロ 丸の内線・銀座線
「赤坂見附駅」D出口より徒歩8分
- JR中央線
「四谷駅」麹町出口より徒歩14分



私のシベリア抑留

モンゴルでの私の抑留体験談



協会長 長 三 協 会 長
 全 田 抑 秀 三 協 会 長
 (一財) 山 田 抑 秀 三 協 会 長
 走るので、物凄く

寒気が身にしみる。モンゴル草原の原野を走る、何百キロ走ったか、向こうに微かに白い建物が見えて来た。全然思いもよらない国へ連れられて来た。何をさせられて殺されるのか不安が募る。まあ皆が一緒だからと覚悟はしている。果てしない草原で自動車から降りた。

零下40度、木枯らしが体にしみる。体感温度は60度ぐらいだろう。降ろされた所には地下洞穴が点々と数カ所見られる。この洞穴が宿舎らしい。中隊毎に洞穴に入る。中は通路幅3メートル長さ80メートル程度で、両側に1メートル程の高さの棚が八段あり、垂直の梯子が片側に4個取り付けてある。野菜の貯蔵庫に使用していた所とのこと。明かりは10ワット程度の暗い電球が4個程あり、手さぐりの室内である。洞穴の入口は3メートルで、穴の縁はちょうど雪の「かまくら」のように氷が穴のまわりを包んでいる。洞穴と外気との差があつてできるのだ。どさくさの中から炊事の支度になるが、まず水の準備が一番。草原原野で水がなく、4キロ離れた所に河があるので取りに行く。各中隊より数百人の割当てで、寝具の毛布を首に巻き、モンゴル兵監視の引率で敗残兵のみすぼらしい姿で水でなく氷を取りに行く。何とも情けない

光景である。かつての日本軍の姿ではない。河の水を砕くにはちよつと骨が折れる。氷を毛布にくるみ、背負って宿舎の洞穴の地獄風呂釜に入れる。氷を水に溶かして使用するには随分氷が必要だ。夜明けになると氷を取りに行くのが部隊の日課だ。氷を水に、水をお湯に、そして家畜の飼料高粱を人間が口にするのにどれだけの時間がかかるか。1日に1回が精いっぱい。それを皆が何よりも首を長くして待つ。口に入れる食物がないと何と哀れなものか。腹はぐうぐうと鳴るがどうにもならない。皆静かに暗い穴の中で待つだけだ。室内も零下で、人と人が交互に体をすり合わせて暖を取る。まったく地獄の監獄だ。

室内は薄暗い。手探りの何とも言えない淋しい環境の日々が続く。外は零下40度くらいあるだろう。12月は昼の長いもぐらの穴蔵の中で、夜中3時頃に1日1回出来上がる中国の高梁のまだ炊きあがっていない雑炊の配給で、静かな薄暗い穴蔵がとたんにざわざわしてくる。飯盒の目盛りで厳しく分配するのだ。胃袋の中にも何も入ってないと餓鬼の境遇になり、普通常識では考えられない、何と表現していいか、この境遇になった者でないと判らない餓鬼の社会だ。

水取りが12月の日課、外は零下40度の木枯らしの風が吹く。室内も零下で、環境衛生は最悪の状態。体力は栄養失調で発熱者は続出軍医がいても薬も充分になく、死亡者が多く出たのはこの時期だった。死骸は1カ所に集めてあるが、冷凍になって人間としての扱いではなかった。

自分もいつどのようなか分からない。淋しい思いで1日1日、皆と暗い洞穴で体をすり合せて日々を過ごした。

【総務省よりご案内】戦後強制抑留・引揚死没者慰霊碑

千鳥ヶ淵戦没者墓苑(東京都千代田区三番町)に隣接して、戦後強制抑留等により犠牲となられた方々を追悼する慰霊碑が建っています(平成22年8月建立)。

中央慰霊祭などでお近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



左：平和祈念碑(引揚)
 右：追悼慰霊碑(戦後強制抑留)

(※総務省が慰霊碑の維持管理を実施)

戦後強制抑留・引揚死没者慰霊碑の御案内
 開苑日 毎日(千鳥ヶ淵戦没者墓苑開苑日に準ずる)
 開苑時間 9:00~17:00(4月~9月)
 9:00~16:00(10月~3月)

アクセス
 ■東京メトロ東西線、半蔵門線、都営新宿線「九段下駅」(2番出口)から徒歩12分
 ■東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」(5番出口)から徒歩10分

ご寄附のお願い

日頃より一般財団法人全国強制抑留者協会の活動に対しまして多大なご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本会では、慰籍事業ならびに慰霊事業等の諸事業を実施していますが、これらの事業を継続し、さらに充実させていくためには皆様のご理解と支えが必要です。引き続き皆様からのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

寄附の方法

●銀行振込でのご送金
 三菱UFJ銀行
 市ヶ谷支店
 普通預金口座
 1055487

●現金でのご送金

〒102-0073
 東京都千代田区九段北1-8-2
 九段第二勸業ビル2階
 一般財団法人全国強制抑留者協会